

BTC

創刊号

2017年5月

後援会

た

よ

り

イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jp.com/

後援会いよいよ始動

一年の準備期間を経て



会長 中山朝雄
(イムマヌエル中目黒教会)

「絶えず目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。」エペソ六の十八
聖宣神学院後援会は、昨年七月より祈り準備してまいりましたが、この度三月一日の第七二次年会で全国の牧師・信徒の皆様のご臨席のもと後援会設立総会礼拝がもたれ正式に発足させていただきました。ここまで導いて下さった主の恵みに心よりの感謝を捧げるとともに祈り支えて下さった先生方、愛兄弟に心より感謝申し上げます。

聖宣神学院は、教団創立者である葛田二雄先生により、メンジストの奉仕者の養成を旨として「聖と宣」の建学の精神と信仰によって、一九四九年五月に産声を上げました。これまで教団内外を含めて五一六名の牧師を輩出し、私塾イムマヌエルの群れを支え導いてくださいます。恵みを心より感謝し、主の御名を崇めまします。二十年後を迎えま

す。
イムマヌエルの将来は、献身者が興され、伝道者を養成するBTCにかかっていることを意識して、全教会の兄弟が全国ネットで祈りの手を挙げる事が大切だと示されております。その為に信徒運動として後援会を立ち上げる事が出来ましたことは、主の導きであり、また大変意義深いことだと思えます。

後援会の設立趣旨は、教会と時代に仕える奉仕者を養成・輩出するBTC支援のための信徒運動として、(一)情報提供等による教会への貢献、(二)祈り・経済を含む教会からの支援の双方向を視野に、教会およびサポーターとBTCの信仰的経済的連携をより緊密なものにし、BTCが安定的かつ発展的に運営され、福音の恵みの拡大に資することを目的としております。
後援会は、「世話人」と

「推進委員」によって組成され活動いたします。「世話人」は、全国の各教会の先生から推薦を頂いた兄弟にお願ひし、BTCのために祈り、また教会とBTCのパイプ役を担っていただきます。「推進委員」は、教会の「世話人」を求めバックアップし、後援会活動の実際的内容を検討し中心となって推進して



山崎製パン総合クリエイションセンターにて

設立総会会場 司会は馬場副会長

目次

会長巻頭言	1
祈りの課題	1
設立総会報告	2
推進委員メンバー紹介	2
世話人一覧	3
新入生紹介	4
教師陣に、聞く	5
BTCの一日紹介	5
推進委員からひとこと	6
院長コラム	6

今般皆様にお届けしました
たきます。

「BTC後援会たより」は、全国の信徒の皆様はBTCの内容をより深く広く知っていただくために年二回発行いたします。この機関誌を通して、神学院をより身近に感じながら全国ネットで祈りの手を挙げ続けていただきたいと願っております。

まず、祈りましょう！
献身者が興されるように！
BTCのために！
また、後援会の今後の働き
のため！
よろしくお願ひいたします。

◆日々お祈りください

- ① 献身に導かれる方が与えられるように。
- ② 神学生の学びと訓練が祝福されるように。
- ③ 教師、職員、スタッフが恵まれるように。
- ④ 二〇一九年の創立70周年の記念行事のために。
- ⑤ キャンパスの活用が検討されています。神さまの豊かな導きがあるように。
- ⑥ 同室生の先生方が導く用いられるように。
- ⑦ 神学院の必要が豊かに満たされるように。
- ⑧ 後援会の役員、推進委員、全国の世話人が導く用いられるように。